

事例視察の結果より参考となるポイント（追加実施分2）

先進事例として、追加で2か所の公共体育館へ視察を行った結果から、各務原市の新総合体育館の整備に向けて参考となるポイントを整理する。

【視察概要】 …詳細別紙参照

令和4年4月21日 大浜だいしんアリーナ・だいしん大浜武道館
（大浜体育館・大浜武道館）

※大浜公園内に立地

令和4年4月22日 エフピコアリーナふくやま（福山市総合体育館）

※敷地内に公園施設があることに加え芦田川かわまち広場と隣接

【新総合体育館整備において参考となる内容】 ※新たな知見を中心に記載

- ・可動間仕切り壁（手動）により大アリーナと小アリーナを区分。大規模なイベント時には、間仕切り壁を外して一体利用が可能。・・・写真①
- ・壁面収納式の可動席（手動）は、引き出した後に移動することが可能。大アリーナ・小アリーナを一体利用する際は可動席を中央に移動するなど、フレキシブルな配置が可能。・・・写真②
- ・放送室に専用機材を設置しており、興行時に専門業者が使用している。・・・写真③
- ・広告事業者を募集しアリーナ内に広告を掲出。広告料による収入を得ている。・・・写真④
- ・可動間仕切り壁（手動）により柔道場と剣道場を区分。柔道場の畳は取り外し可能であり、必要に応じて、間仕切り壁を外して一体利用が可能。・・・写真⑤
- ・柔道場と剣道場に目線高さのガラス窓を設置することで、競技者に配慮しつつ、廊下から室内の様子を確認することが可能。・・・写真⑥
- ・エントランス付近の共用部にキッズスペースと談話コーナーを設置。・・・写真⑦
- ・廊下を壁面緑化している事例あり。・・・写真⑧
- ・床面のサイン表示により主要施設への動線を誘導。・・・写真⑨
- ・共用部にて、市にゆかりのあるスポーツチームや体育館が整備されている公園の歴史等を紹介。（要求水準書に基づく事業者提案）・・・写真⑩
- ・体育館に隣接する形で、屋外にバスケットゴールを設置。・・・写真⑪
- ・体育館のPFI事業とは別に、公園の設置許可制度を活用した民間活力の導入を実施。事業者提案により、カフェと親子の遊び場（ボーンランド プレイヴィル アネックス）の一体施設を誘致。子どもを見守る保護者も運動できるようエアロバイクを併設。・・・写真⑫
- ・障がい者団体との連携によって案内サイン（触れてわかりやすい表現）やトイレの手すりを検討。・・・写真⑬
- ・施設の至るところに県産材を使用（例：剣道場の床は県産材のヒノキ）。・・・写真⑭
- ・2トン車の乗り入れが可能となるフロアとすることによって、設営等の負担を軽減。・・・写真⑮
- ・観客席の通路（コーナー部）に物販ブースの設置が可能となるスペースを確保。（競技中にも買い物しやすい。）・・・写真⑯

- ・東京オリンピックではメキシコ選手団の滞在場所となり、東京以外では唯一パラクライミングの大会会場となったクライミングウォールを設置。・・・写真⑰
- ・補助犬のためのトイレを設置。・・・写真⑱
- ・敷地内の公園施設と体育館を一体で計画。大型遊具やイベント時に活用可能な電源を設置し、日常的なにぎわい創出に寄与。・・・写真⑲
- ・敷地内の公園施設に加え、かわまちづくり事業（国土交通省）との連携による広場空間（スケートボードパーク、芝生広場、バーベキュー広場）を整備。（体育館敷地と道路を挟んで隣接。往来が容易にできるよう道路の上に通路（歩道橋）を設置。）・・・写真⑳
- ・駐車場は常時 360 台、イベント時の臨時駐車場約 700 台を確保。（2 時間無料）臨時駐車場は土で仕上げられており、普段はグラウンドとして利用。・・・写真㉑

①可動間仕切り壁によるアリーナの区分

（小アリーナ）



（大アリーナ）

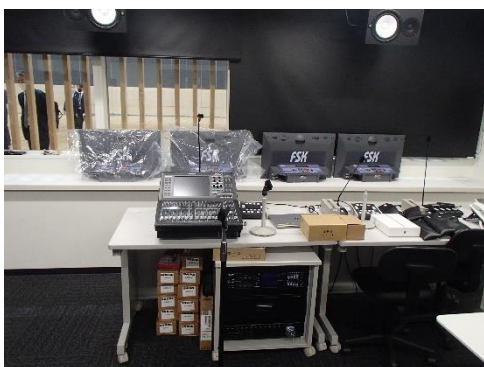


②移動式の観覧席

（壁面に収納 引き出し後に移動可能）



③専用機材を設置した放送室（興行時に専門業者が使用）



④アリーナにおける企業の広告掲出



⑤可動間仕切り壁による柔道場と剣道場の区分



⑥柔道場と剣道場の様子が確認できる目線高さのガラス窓



⑦エントランス付近の供用部に設置されたキッズスペースと談話コーナー



⑧廊下の壁面緑化



⑨主要施設への動線の床面サイン表示



⑩市にゆかりのあるスポーツチームや体育館が整備されている公園の歴史等の紹介



⑪ 体育館に隣接した屋外のバスケットゴール



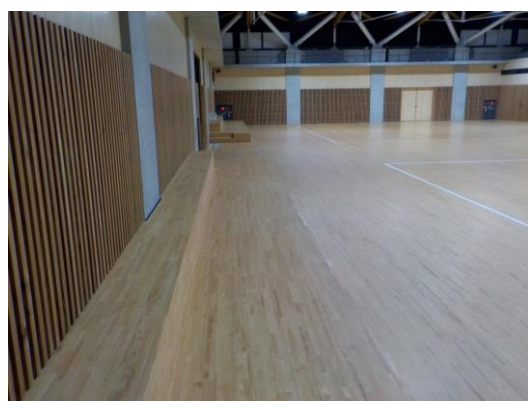
⑫ 屋外にカフェと親子の遊び場の一体施設を誘致



⑬障がい者団体との連携により検討した案内サイン・トイレ手すり



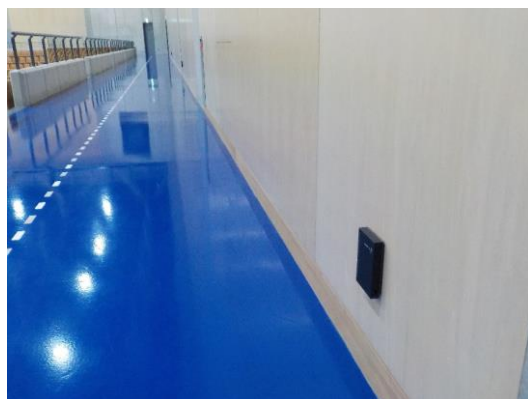
⑭県産材の積極的な活用



⑮2トン車が乗入れられるフロア



⑯観客席の通路上に物販が可能なスペースを確保（電源も確保）



⑪パラクライミングの大会にも対応したクライミングウォール



⑫補助犬のためのトイレ



⑬屋外の活用（大型遊具の設置、イベントにも対応した電源の設置）



②⑩かわまちづくり事業（国土交通省）との連携による広場空間の整備



②⑪イベントにも対応した駐車場の確保



【(参考) 視察を終えて委員の所見】

アリーナ

- ・広さ、つくりとも申し分ない。目立つようにと色分けされたラインは、各団体と相談したということではあったが、やや見づらさを感じた。(堺市)
- ・大アリーナと小アリーナを区切る手動式の可動間仕切りには驚いた。手動式で十分だと感じた。(堺市)
- ・壁を保護するためのマットレスにはフックを掛ける金具が取り付けがあるので、手すりのフックに簡単に設置ができそうである。(堺市)
- ・計画の段階で競技以外にもイベントやコンサートにも使えるように防音設備として、遮音仕様と吸音仕様になっている。(堺市)
- ・デジタル機材は最小限にとどめるべきか。音響はまだよいのかもしれないが、映像に関しては日進月歩。主催者側の持ち込み式にし、必要な箇所に吊り下げたり固定したりできる設備があればよいのであろう。(福山市)
- ・採光部は四方上部にあり、普段はロールカーテンが閉めてある。必要時は電動式でロールカーテンが開き、光が採れる。よいつくりだと思う。(福山市)
- ・フットサル利用を認めているサブアリーナでは、壁の内側 2 メートル程の位置にネットを全面に張れるようになっており、ネットの後ろを通行できるし、ボールが当たっても壁までは到達しない。この方法はコストも抑えられるため、検討したい。(福山市)

観覧席

- ・可動席について、手動であり、壁から前方へ引き出してさらに横移動ができることなので、活用性が広がるように思う。(堺市)
- ・可動席は 16 ブロックあり、1 ブロック 1,000 円/日と細かく設定されているのは借り手側にとってありがたいはずである。(堺市)
- ・カップホルダーが座面下に付いていた。よい工夫である。(堺市)
- ・観覧席の四角に販売店スペースがある。イベント開催時には有効に使えるように思う。(福山市)

武道場

- ・堺港の灯台をイメージした明かりとりのデザイン。武道場などにも統一したデザインがあった。そうしたデザインのテーマ性は重要性を感じた。(堺市)
- ・柔道場の畳は固定ができないものであったが、やはり常設であれば固定できる工夫はほしい。(堺市)
- ・武道場ではヨガの教室やスタジオで行うような健康体操といった教室、小学生以上で大人も楽しみながら参加できるマット中心の器械体操等の教室も行っており、稼働率向上に繋がっていると思われる。(堺市)
- ・柔道場の観覧スペースと畳との間に衝立がないため、競技を見やすい反面、もつれ合って観覧スペースに来てしまうと、観覧スペースの段差が危険になると思う。競

技関係者の目で決めていただけるとよい。(福山市)

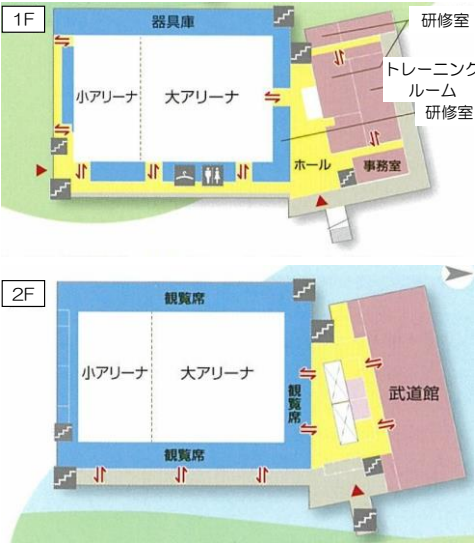
その他諸室等

- 民間導入の施設としてボーンランドプレイヴィルや地域福祉団体運営のカフェがあった。各務原市でも特別支援学校との連携等があってもよいように思う。(堺市)
- キッズスペースの壁デザインや壁面緑化、二階ホールのブレイザーズコーナー等、親しみや交流をテーマにしたホールづくりがなされていた。(堺市)
- メインアリーナの大控室(選手用更衣室)について、選手ロッカーが並び、素晴らしいと感じた。「中高生も県決勝以上の大会は使用可。ただし、清掃は責任をもって」としていくと、利用実績が上がり、中高生にも励みになる。(堺市)
- 選手用更衣室が別々でもトイレが一緒になる等の問題が起こらないよう、選手更衣室にトイレ、シャワー室を設けること等を検討する必要がある。(堺市)
- 会議室が多く用意されていた。必要最小限でよいので、複数は用意したい。また、武道館にも付随する小部屋があるとよい。(堺市)
- 災害誘導のためのフラッシュ機能、トイレ音声システム等のユニバーサルデザインにも細やかな配慮がなされている。(福山市)
- ホールには地域特産コーナーがあった。外部のカフェ等でもよいが、こうしたコーナーがあるとよい。(福山市)

にぎわい・動線

- 来賓車や選手バスがつけられる場所が必要であると考えるので、車が体育館近くにまで行けるようにする必要はあるように思う。(堺市)
- 社会福祉法人が運営している「森のカフェ」には多くのメニューを取り揃えていないが、こうした飲食ができるお店があるのは、活性化に一役買うのではないかと思う。(堺市)
- 本格的にスポーツをやられている人だけでなく、日常的に遊びに行く、散歩に行く、そんな人がカフェ等に寄り道をする、そんな空間にできれば、にぎわい創出にもつながっていくのではないかと考える。(堺市)
- 建物の外に巨大な遊具があり、この遊具目当てで子どもたちが集まってくるのだろう。さらに近くに水遊びができる設備があれば一層にぎわうと思う。(福山市)

各務原市新総合体育館整備に関する事例視察の概要(追加実施分2)

		1	2
施設名		大浜だいしんアリーナ・だいしん大浜武道館 (大浜体育館・大浜武道館)	エフビコアリーナふくやま (福山市総合体育館)
自治体人口 (令和3年7月1日現在)		約82万人	約47万人
事業手法		PFI方式(BTO方式)	従来型+指定管理
敷地面積		約163,000㎡(大浜公園全体)	約33,674㎡
建設年		2021年	2019年
構造		鉄筋コンクリート造(一部鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造) 地上2階建	鉄骨鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造) 地上2階建
延床面積		約12,909㎡	約16,238㎡
開館時間		9時～21時	9時～22時
休館日		月1回、年末年始、安全点検日(不定期)	12月29日～翌年1月3日
駐車場台数		約270台	約366台 (別途、近隣の広場に700台程度駐車可能)
主な施設構成		大アリーナ、小アリーナ、柔道場、剣道場、トレーニング室、研修室、会議室など	メインアリーナ、サブアリーナ、柔道場、剣道場、トレーニングルーム、スタジオ、多目的ルーム、会議室など
アリーナ面積		メイン(大アリーナ):約2,194㎡(48.5m×44m) サブ(小アリーナ):約915㎡(20.2m×44m)	メイン:約2,600㎡(65m×40m) サブ:約1,000㎡(40m×25m)
競技面数	メインアリーナ	バレーボール3面、バスケットボール2面、ソフトテニス3面、ハンドボール2面、フットサル2面、バドミントン8面	バレーボール3面、バスケットボール3面、ソフトテニス3面、バドミントン16面、卓球20面
	サブアリーナ	バレーボール1面、バスケットボール1面、ソフトテニス1面、フットサル1面、バドミントン4面	バレーボール1面(運用2面)、バスケットボール1面、ソフトテニス1面、バドミントン4面、卓球6面、フットサル1面(一般的な40m×20mではない)
観覧席数	固定席	約2,038席(大アリーナ1,620席+小アリーナ418席) ※大アリーナと小アリーナをつなげての一体利用が可能。	約2,142席
	可動席	約980席 (壁収納式・手動)	約880席 (壁収納式・手動)
プロリーグ開催実績		V1リーグ(男子)	B1リーグ、V1リーグ(男子)
全景写真			
アリーナ写真			
配置図			
施設の特徴、独自の工夫点等		- 旧体育館の老朽化に伴い、公園全体の魅力向上を目的に、PFI方式により建替え事業を実施。 - 事業者の自主提案施設として、森のカフェ(社会福祉法人による運営)とボーンランド プレイヴィル アネックス(親子の遊び場)を設置。 - アリーナは、可動間仕切り壁により大アリーナと小アリーナを区分しており、間仕切りを外して一体利用が可能。 - 武道館は、可動間仕切り壁により柔道場と剣道場を区分しており、間仕切りを外して一体利用が可能。 - 旧体育館については、老朽化が著しく、転用等が困難であるため廃止とし、現在は解体工事中。	- 福山市営競馬場跡地活用基本計画で「スポーツ・健康ゾーン」に位置づけられた区域に、老朽化した既存の体育館、武道館の機能を集約した総合体育館を整備。 - 体育館前面には公園、背面には河川空間を活用した広場等のほか、グラウンド等の機能もある。 - 県産材をふんだんに使用。 - アリーナには2トン車が入り、設営等が可能。 - スポーツクライミングの施設はパラクライミングに対応。 - 市スポーツ協会が市内の他の体育施設と一体的に管理・運営を行っている。 - 障がい者団体との連携により、ピクトや案内表示を計画。